

【検討資料】

1 テーマ（目的）

地域住民や防災，救急，福祉等の関係者が，聴覚障がい当事者が災害時等にコミュニケーション面での的確な支援を得られるための方法（環境）や聴覚障がい当事者とのコミュニケーションについての理解を深めることを目的とする。

- テーマとして広いため，焦点を当てる部分（例）
 - ・大規模自然災害等への備え（事前防災・減災）
 - ・避難時の配慮
 - ・救急時の対応
 - ・災害時の文字情報による周知（ホテル・商店・交通機関等）
 - ・関係者（ろうあ協会，手話通訳者，手話サークル等）からの活動報告等

2 事業実施内容（案）

(1) 関係者による講演と意見交換を行う。（※今年度の意見交換会の例）

○講演者（例）

- ・ろう者
- ・地域住民（町内会長，民生児童委員など）
- ・防災・救急担当

○意見交換参加者（例）

- ・ろう者
- ・地域住民（町内会長，民生児童委員など）
- ・ホテル・商店・交通機関関係者
- ・防災・救急担当
- ・障害・介護サービス事業所

○講演会・意見交換会の参加者（例）

- ・ろう者，手話通訳者，町内会長，民生児童委員，障害・介護サービス事業所
- ・ホテル・商店・交通機関関係者等
- ・（行政）防災，消防，福祉

(2) その他の例

- ・石狩市の先進事例（※関係団体による取組）
- ・消防関係者に手話の講習を受けてもらうよう取り組む（前回会議意見から）
- ・参加者によるグループワークを行う。（意見交換会アンケートから）
- ・関係者（ろうあ協会，手話通訳者，手話サークル等）から活動の報告等